

(別添 2)

貢献事例の記載例について

例 1： 学術論文の場合（論文タイトル、雑誌名、発行月の入力が必要です）

「オピオイド鎮痛薬を入院中に開始した外来頭頸部がん患者を対象とした病院薬剤師による電話サポート介入の効果」、
日本緩和医療薬学雑誌、2024 年 9 月発行予定

- プロブレム

「外来頭頸部がん患者に対する疼痛管理」

- 関与したタイミング

「在宅」

- 具体的な薬剤師の介入内容（簡単に結構です）

「外来頭頸部患者に対して、電話によりオピオイドの使用状況や NRS、副作用等有無を聴取し、適宜相談応需した。」

- 臨床アウトカム（簡単に結構です）

「外来頭頸部がん患者への薬剤師による電話介入が、オピオイドによる疼痛緩和や副作用回避に繋がった。」

例 2： 学会発表の場合（発表タイトル、学会名、発表月の入力が必要です）

「抗菌薬の供給不安定な状況下における抗緑膿菌薬の使用量変動とアウトカム評価」、第 98 回日本感染症学会学術講演会・第 72 回日本化学療法学会総会 合同学会、2024 年 6 月発表

- プロブレム

「カルバペネム系抗菌薬供給不安定時における抗菌薬使用量の変動等について」

- 関与したタイミング

「入院中」

- 具体的な薬剤師の介入内容（簡単に結構です）

「カルバペネム系抗菌薬供給不安定時に AST 会議の実施回数を増加させただけでなく、初期抗菌薬の選択や De-escalation の実施をはじめとした薬剤師による積極的な介入を継続して行なった。」

- 臨床アウトカム（簡単に結構です）

「抗緑膿菌薬全体の使用量増大を防いだ。」

* 事前に調査内容についてご確認・ご準備をいただきますと幸いです。